



日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

通算 第35号 2015. 12.

日高山脈博物館は、道内唯一の地質と岩石の登録博物館！日高山脈の地質や岩石を生かした講座などを開催しています！

「石・鉱物・化石のお宝鑑定会 2015」開催しました！

日高山脈博物館の定番事業となる年1回の大鑑定会。13年連続13回目の開催です。

11月14日に、年1回の大鑑定会、『石・鉱物・化石のお宝鑑定会2015』を開催しました。

それぞれの専門家が、岩石・鉱物・化石を鑑定し、鑑定書を発行する内容で、今年で13年連続13回目の開催と、人気の高いイベントです。

例年通り、一人で10個以上の大量の岩石を持ち込み、鑑定士と岩石に関する話で盛り上がる参加者や、「他の方が持ってくる変わった石を見るのも楽しい」という参加者も毎年来場されており、毎年、岩石・化石・鉱物の好きな方たちのコミュニティの場としても活用されています。このようなコミュニティの場は数が大変少ないので、この鑑定会の重要性が示されます。

鑑定会を開催することで、さらに岩石・鉱物・化石への興味の幅を広げることができそうです。この鑑定会は、もちろん来年も開催する予定です。日程等が決定しましたら、広報やホームページ等でお知らせいたします。

なお、普段でも、学芸員が岩石の鑑定同定などを行なっておりますので、気になる岩石などがありましたら、ぜひお持ち込みください。

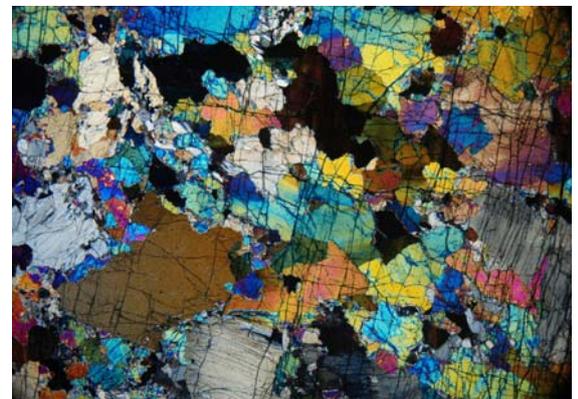


日高山脈ネイチャーセミナー 2015 岩石地質講座・上級(2)を開催しました

こちら博物館の特色あふれる、日高の岩石を学ぶ岩石地質講座！

11月9日に上級(2)を開催しました。上級と聞くと、難しいと思われるかもしれませんが、地質の醍醐味を楽しく味わえるように、内容を考えています。

上級(2)は、こちら恒例の岩石薄片の作成です。岩石薄片とは、岩石を新聞紙よりも薄い0.03mmの厚さにし、顕微鏡で観察できるようにした試料のことです。今回の試料は、日高町の斜長石かんらん岩を用いました。右の写真は、参加者が作成した岩石薄片の顕微鏡写真です。鮮やかな色彩の世界は、かの宮沢賢治も体験した「石の中の宇宙」を見ているようで、まるで芸術品のようでもあります。当館の方法では、参加者全員が失敗せずに岩石薄片を作成でき、岩石の新たな楽しみや美しさを実感したとの感想もいただきました。ぜひ当館のネイチャーセミナーで、地質や岩石を大いに楽しんでください！来年ももちろん開催予定です！



日高山脈博物館のホームページ上でも掲載しています。こちらでは、写真などがカラーとなっています。ぜひご利用下さい。…⇒ ホームページ (<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/hmc/>) の新着情報からどうぞ。